

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成30年度から第3期中期目標期間（平成30年4月1日から令和6年3月31日まで）に入り、4事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、地（知）の拠点として、大学の個性・強みを生かした教育研究を行い、地域社会の発展に貢献できる優秀な人材の育成をはじめとした取組を着実に実施することを最も重要な使命としている。

令和3年度の評価にあたっては、これまでの業務実績も踏まえ、第3期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中1項目（教育）について「特筆すべき進捗状況にある」、5項目（研究、地域貢献及び国際交流、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善、自己点検・評価及び情報の提供）について「順調に進んでいる」と評定した。

九州歯科大学では、医科歯科連携や多職種連携を見据えた特色ある学生教育を行うとともに、地域の中核病院等での医科歯科連携による地域包括ケアシステム構築や成人歯周病予防の取組を幅広く展開するなど地域連携にも注力している。令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続したが、対面授業、遠隔授業を的確に組み合わせ合わせて行ったほか、大学の特色である医科歯科連携実習も継続するなど、教育研究の維持向上に取り組んでいる。特に、理事長の強力なリーダーシップにより、卒業目標の達成に向けて学修成果を明示する「アウトカム基盤型教育」の実現に向けた教育改革を推進し、学修評価へのルーブリック活用、臨床教育への先進的シミュレーターの導入、大学院修了率の向上などの成果をあげている点はきわめて優れていると判断した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の令和3年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

九州歯科大学は、歯科医療の高度化・専門化や高齢化社会の進展等、多様化するニーズへの適切な対応が求められる中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより地域貢献の充実に向けた取組を積極的に行っている。引き続き、構築した内部質保証体制を機能させながら、これらの取組を一層推進し、地域歯科医療及びその人材育成の中核として発展することを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	---------------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を上回る取組や、充実した教育を推進するための積極的な取組が認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する実践的な歯科医師及び歯科衛生士の育成（アウトカム基盤型教育の推進）
 - ・新入生スタートアップ学修支援プログラムを開始し、高校における生物と化学の未履修者を中心とした学修支援を実施するなど、初年次教育の充実に取り組んでいる。
 - ・モデル・コア・カリキュラムの改訂を踏まえ、診療参加型の臨床実習を展開するとともに、コロナ禍において総合病院での医科歯科連携実習を継続し、実践的な歯科医療人の育成に力を入れている。
 - ・他に先駆けて導入したデジタル歯科シミュレーターを、学部での技能教育に適した形に一段と改良を加え、学生の臨床技能の向上に向けて実習を充実させた。
 - ・コロナ禍において、シラバスにおいて評価基準を明確にして遠隔授業を行うとともに、感染症対策を講じた臨床実習を適切に実施することにより、学生の学力の向上に取り組んだ。
 - ・学生の成績を分析したうえで学修支援を行い、令和4年の歯科医師国家試験新卒合格率（対出願者数）が全国29大学中2位と高水準であったほか、歯科衛生士国家試験合格率が引き続き100%であった。
- (2) 特色ある大学院教育による優れた歯科医療人の育成
 - ・ルーブリック評価法を導入し、評価の観点と基準を示したうえで、学生の学びの達成度を適切に評価するとともに、学位の申請要件を見直すことにより、修業年限での学位取得の増加に繋げるなど、大学院の教育システムを顕著に改善している。
- (3) 教職員の教育力向上
 - ・個人業績評価で教育業績の低い教員に対して、職位に応じた教育力向上プランを提示し改善を求めたほか、同僚等による授業評価を行うなど、教育活動の改善に取り組んでいる。
- (4) 意欲のある優秀な人材の確保
 - ・コロナ禍において、WEBオープンキャンパス、高校訪問を検証し工夫しながら実施するとともに、広報誌 Platys を活用して、意欲のある優れた人材の確保に取り組んでいる。
- (5) 学生の学修及び生活支援
 - ・健康問題や精神的な悩みを抱える学生、成績不振の学生等に対し、教職員と保健師、学生相談室のカウンセラーが連携して支援を行うとともに、コロナ禍におい

て、新入生に対しては、初年次ガイダンス等を通じて、円滑に遠隔授業の受講ができるよう修学環境構築の支援を行った。

(6) キャリア支援

- ・口腔保健学科に重点が置かれていた就職支援体制を見直して、学部及び大学院のキャリアデザイン支援を強化するためのキャリアサポート会議を設置するとともに、歯学科にキャリアデザインに関する新たな科目を開講して、多様なキャリアパスに結びつくインターンシップ等の活動を支援した。口腔保健学科においては、引き続き就職率100%を達成している。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・学術誌への論文掲載数、科学研究費補助金の応募数、獲得数ともに目標を上回るなど、研究活動の充実に取り組んでいる。
- ・地域の総合病院と連携を強化して小児期の健全な成長発育に向けた研究を行うとともに、寄附講座において、参加企業と連携して歯周病の病態を数値化するシステムを構築するなど、地域包括ケアシステムに資する研究を展開している。
- ・成人歯周病検診を幅広く展開するため、企業等との連携により大規模な歯周病リスク検査を実施し、歯周病予防と全身疾患の関連に係る研究を展開しているほか、歯周病重症化予防のため、国民皆歯科検診の実現に向けた研究を開始している。

3 地域貢献及び国際交流

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

地域貢献及び国際交流については、年度計画を着実に実施していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・コロナ禍において活動が制限される中、地域の総合病院や歯科医院と連携を深め、小児歯科医療に関するリカレント講座を実施したほか、開業医からの相談にオンラインで対応した。
- ・北九州地域の地域包括ケアシステム構築に資するため、医科歯科連携を充実させるとともに、成人歯周病予防の取組を幅広く展開するため、地域の経済団体等との連携のもと、6000人を超える従業員を対象とした、コロナ禍に対応できる歯周病検査キットを用いた郵送検診事業を展開している。
- ・学生の海外短期派遣プログラムの実施が困難な中、当該プログラムに代えて、タイ、台湾の大学との間でオンライン国際交流プログラムを実施した。

4 業務運営の改善及び効率化

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営の改善及び効率化については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・スマートフォンを活用して学生の健康状態を毎日確認するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続した。また、学生の健康管理を図るため、教員、保健師及びカウンセラーで情報共有を行い、学生指導に繋げるとともに、障がいのある学生をサポートするための体制を整備している。
- ・附属病院に口腔リハビリテーションセンターを開設し、歯科医師と歯科衛生士がより連携しやすい体制とし、訪問診療の充実を図った。

5 財務内容の改善

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務内容の改善については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・全学説明会で理事長自ら決算状況を説明し、大学全体で適正な予算執行に努めているほか、電子カルテシステムを活用し、データ解析に基づく病院経営管理を行っている。

6 自己点検・評価及び情報の提供

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

自己点検・評価及び情報の提供については、年度計画を着実に実施していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・内部質保証委員会を中心とした内部質保証体制を構築し、学生のアンケート結果や外部評価を、教育の改善や大学の方針決定に反映できるよう取り組んでいる。
- ・大学ホームページや広報誌の充実を図り、教育研究情報の適切な公開に努めている。